臺灣日日新報 夕刊
一月二十八日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆市 基隆支局 臺中市 臺中支局 臺南市 臺南支局 花蓮港 花蓮港支局 大阪市 大阪支局 東京市 東京支局

陸相の推薦方を けふ更らに懇請

陸相と總監を歴訪するか 或は三長官會同の席上で

【東京二十八日發】宇垣大將は二十七日夜今井田清德氏と協議の結果、時局の重大性に鑑み飽くまで組閣完成を期することが最も適當な措置であるといふに意見一致し、先決條件として陸相推薦を今一度懇請することになり、依つて宇垣大將は二十八日寺內陸相並に杉山教育總監を歴訪するか、或は三長官會同の席上再度後任陸相の推薦方を懇請することになつた、併し軍部の態度は依然強硬で宇垣大將の陸相推薦懇請を拒否するは明かであり宇垣大將の組閣工作は結局この會見を最後として決定的破局に直面するものと見られる

三長官との會見を申し込む

今井田氏、陸相を訪問

【東京二十八日發】今井田清德氏は二十八日午前十時三十分組閣本部を出で、官邸に寺內陸相を訪問、宇垣大將と陸軍三長官との會見方を申込み暫々協議した後同十一時十分官邸を辭去組閣本部へ歸つた、今井田氏は「宇垣大將の陸軍首腦部訪問については宇垣大將と會つた上でなければお話出來ぬ」と語つた、尚今井田氏と會見後寺內陸相は語る

「詳細からは何事も話すことはない、會見の事については今井田氏から聽いて貰ひたい」

反對理由の明示を宇垣大將要求か

緊張した場面を展開せん

【東京二十八日發】宇垣大將の組閣に對して陸軍が強硬に反對し後任陸相を推薦せざる為め組閣本部では二十八日陸軍首腦部と會見して重ねて後任陸相の推薦を懇請し陸軍側があくまで拒否する場合は陸軍が宇垣大將に反對する理由の明示を求めるといふ意見があり、宇垣大將もこの點に關しては相當決意してゐるとも傳へられてゐる為め陸軍側が飽くまで後任陸相を推薦せざる場合、宇垣大將が陸軍首腦部に反對理由の明示を求める事となるかも知れない、これに對し陸軍側は宇垣大將は組閣の大命を拜してゐるので會見を求められればこれを拒否する事はない、併し反對理由については今日迄軍が折角緒に就かんとしてゐる際再び部內の反目を來すが如きは兩者共に好まぬ事になり陸軍の為め斷じて執らざるところであるとしてゐるので宇垣大將がこの問題を持出せば宇垣大將と陸軍との間に緊張した場面を展開する事とならう

陸相は送り得ず

陸軍の方針は不變

【東京二十八日發】宇垣大將は二十八日中に再び寺內陸相を始め陸軍首腦部を訪問して懇談する事になつたが、陸軍としては既に決定の強硬態度を堅持し宇垣大將の一旦拜辭せん事を期待して居り、若し宇垣大將が重ねて寺內陸相を訪問し候補者推薦方を申入れる事があつても陸軍としては三長官にて更に現下の重大なる時局に鑑み部內の統制を保持し得ると思はれる候補者に對しては全部交渉を為したるところ何れも入閣を拒絶して居り、他に候補者を求むる事はこの際全く不可能である事情を率直に述べ、以て宇垣大將の拜辭決意の速かならん事を期待するのみであるとしてゐる即ち陸軍としては宇垣內閣には絶對に陸相を送り得ずとする方針には依然として變更はない

伏見宮殿下 けふ御歸京

御豫定を變更されて

【東京二十八日發】島田軍令部次長は二十七日午後熱海に御靜養中の伏見軍令部總長宮殿下に謁を賜はり其の後の政情を親しく言上し同夜歸京したが、總長宮殿下には御豫定を御變更遊ばされ二十八日午後御歸京遊ばされる

陸軍首腦部 集つて凝議

【東京二十八日發】寺內陸相は今井田清德氏と會見後陸相官邸に梅津次官、西尾參謀次長、磯谷軍務局長等の首腦部省部を招き寺內陸相から今井田氏との會見內容を說明しこれを中心に重要協議を重ねた

宮中重臣等 早朝參入

【東京二十八日發】陸相推薦拒否から宇垣內閣の組閣工作は益々混迷の危機にあるので湯淺內府、百武侍從長、宇佐美武官長等宮中重臣は二十八日午前八時すぎ相前後して宮中に參入した

陸海次官會談

【東京二十八日發】山本、梅津海陸兩次官は二十八日午前十時重要打合せを行つた

新竹州州會

傍聽席は超滿員

【新竹電話】昭和十二年度豫算案その他を附議すべき新竹州會は[illegible]初のことゝて緊張裡に二十八日午前九時より州會議事堂に開會された、議員席は[illegible]

同時に[illegible]名中[illegible]名出席、各參與[illegible]會の辭とともに一時間[illegible]知事の議長席就任、議員議席決定、議員の出缺席報告、會議錄署名者に太田重助、陳維檜兩氏を決定、第一號議案昭和十一年度新竹州歲入歲出豫算、第二號議案借入金に關する件を一括上程第一讀會に入る先づ森田內務部長より十一年度豫算追加に就き說明あり午後零時四十五分晝食のため休憩に入る

煙草課長は酒課長が兼任

[illegible]

その日その日

[illegible]

エムデン艦長等に賜謁

十九日來訪した獨國海軍練習艦エムデン艦長ワルター・ローマン大佐は同艦副長ベルンハルト・リーベタンツ少佐と共に入京に際して賜はつた我が勳章を胸に輝やかしつつ二十八日午前九時半ディルクゼン大使並に大使館附武官に伴はれ參內した 天皇陛下には午前十時鳳凰間に出御、親しく謁見仰付けられ、艦長より來朝の挨拶並に我勳の御禮を言上敬意を表し奉れば 陛下には優渥なる御言葉を賜ひ一同感激して御前を退下した

(寫眞は左からローマン艦長、獨大使、後方は副長、獨大使館にて)

人事

▲松風嘉定氏(京都松風工業會社重役)二十八日ダグラス機にて來台(鐵道ホテル) ▲柳本通氏(南洋興發會社)來台中の所二十九日內地へ

無絃琴

この頃の中央政界の情勢について[illegible]

けふ中に結着

【東京二十八日發】宇垣大將が二十八日打たんとする起死回生の途が果して如何なるものかの點最も注目されてゐるが、陸軍の入閣拒絶に依る致命的難關を突破することは至難の業といふの外なく、二十八日が問題の結末を見る時期ではないかと觀測される

次田長官本部訪問

【東京二十八日發】次田法制局長官は二十八日午前十時組閣本部に入つた

會見しても無駄

陸相か事情を説明

【東京二十八日發】今井田清德氏は寺內陸相との會見に於て宇垣大將と三長官との會見を申込んだが之に對し寺內陸相は二十六日三長官會議の結果を回答せる通りの事情で今日も變つて居ないので假令會談しても到底期待に副はれないと付け加へ陸軍の態度は依然として強硬なるものある故會見しても效果なき事情を說明した

會談の內容は話せぬ(今井田氏談)

【東京二十八日發】今井田清德氏は寺內陸相と會見後組閣本部に於て左の如く語つた

先刻宇垣大將の使として寺內陸相に會つて來た、その內容は只今は申上げられぬ、大將が今一度陸相に會はれる事になるか何うかは未だ決定して居ない、對陸軍關係に於て昨日と特別に變つた情勢があるとは云へぬ、何か向ふからの返事を待つて居ると云ふ事はない、私が使に行つただけで何等かの結果があるかないかも到底申上げられぬ、陸軍からの回答は恐らくないと思ふ陸相以外の陸軍首腦部の人に私から使に行く豫定は只今の所ない

異例な方法による解決など考へない

ゆうべの今井田氏の話

【東京二十七日發】今井田清德氏は二十七日午後十時二十分組閣本部で語る

今晩こちらから組閣をなし上げるため或る働きに出ようとも思つてゐたが今晩は別に動かず二十八日に持越すこととなつた、二十八日と言つても午前中と限ることは出來ぬ、こちらでは飽くまで円滿に解決したい本旨をもつてあらゆる場合について攻究してゐるが陸相を得るについて何等か法制的手段を用ひてゐるといふ樣なことはない、左樣な方法に依る解決は考へてゐない、二十八日宇垣大將と陸軍當局首腦部と會はれるかも知れないがこちらでは出來るだけ円滿な協調に依つて解決したいとの對神なのでその會見の際今回考へてゐるこの對神に反する樣だとへば陸相を得るについての或る決意とかいふ樣なことを示すことはないと考へる、海軍側からは何等回答に接してゐないがまだ督促するといふ樣な時期にも達してゐない、從つて二十八日陸軍側と會見せず海軍側と會見することは豫定されてゐない、陸相問題が不調に終つた場合海相だけでも出して貰ふ樣に要請するといふ樣なことは今日考へて居ない、要するに出來るだけ円滿な協調に依つて解決したいと思つてゐるもので何等か異例な方法に依つて解決しようといふ意思は持つてゐない、即ち陸相問題にしても飽くまで三長官の合意に依つて得たいと思つてゐる、協調的態度で飽くまで目的を達成したいが目的を達するまで何時までもこの狀態を續けて行くかどうか一應御覺悟を乞ふかといふやうな事柄に今日發見してゐない、二十八日宇垣大將が內大臣と會はれるかまだ奏內されるかといふことは明日になつて見ないと判らぬ、唯今日の所その豫定はないといふことだけは申上げられる、尙新聞報で入閣交渉を行つてゐるなどといふことは全くない

城西分會鄭部林治人等、他の用件よりも何よりも伊勢大廟に參拜することを望みに先頃內地へ行つたが▲去る十九日、台北の家族へ宛て「けふ大廟に參拜する、家族一同遙拜せよ」と伊勢の宇治山田から電報で親子をかけて來た。依つて夫人は同日家族を指揮し、揃つて遙拜したさうだ▲內地では小學生の大廟參拜年中行事を見てゐる今日、台湾に取つても味はふべき一插話

愛すべき哉 (99)

武田麟太郎
畫 冨永謙太郎

季節の風(十七)

美也子は、私も一しよに參ります、先生が立食の上で山形さんに逢はせて下さい、と云はうとした。しかし、窓際の樣子が餘り慌ろしく、この場合、誤解を生むやうな言葉は避けた方がいいと考へた。

「――僕の留守の間にまたのこのこと出かけて、丸の內へなんぞ行つたりはしないだらうな」

そんな厭味な汚いことも口をついて出るのだ。

「――僕の眼の屆かないところでは何をしてゐるか知れたもんぢやないんだから」

窓際はづけづけと云ひながら、さうした自分が情ないのだ。

怖れきつた美也子を尻眼に、彼は外へ出た。

どうせ振付師に現れてゐるだらうと、彼はそこいらを探して廻つた。

どこにもゐないので、掃除のすんだ客席に下りて、もう舞台へ稽古着で出て來た踊り子たちがピアノを弄つたり、お互ひに振りの訂正をしたりしてゐるのを、ぼんやりと眺めてゐた。

練習はなかなかはじまらなかつた。

「――おい、山形はどうした」

彼は耐へかねて、ブツトライトの側に寄ると、ダンシング・チームに声をかけた。

「――さア、まだお見えにならないやうですの。寒くて仕方がありませんわ、早くやつていただかないと」

女たちの一人は鳥肌の出た腕をピタピタ叩きながら答へた。

「――窓際君」

支配人であつた。窓際に近い厳格な眼つきであつた。

「――けふは山形先生は來ないから、取敢ずレッスンは休みだ」

支配人は踊り子たちにさう云つておいて、彼女たちのぞろぞろと歸つて行く足音を聞きながら、窓際を[illegible]の方へ連れて行つた。

「――こんなものが來たのだ」

「――何です」

山形からの速達手紙なのだ。

まだこれに出すまいとしてゐたが、事情が生じたので已むなく、支配人がどこまでも窓際君を信用してゐるし、そんな小屋では仕事が出來ないから、ついでながら、けふ限りやめさせて頂く、北川美也子君も相談の結果、よしたいと云つてゐる。今夜は缺勤して代役を賄んだのはその意味からだ。二人は一しよに丸の內へ働くことになるだらう。

風は猛烈しく吹きつけてゐた。

歩きながら、やつと冷ぐ冴かへつて來る頭で、事件の全貌を整理しようとした。そして、彼にあつてはその中心は、劇場同士の鞘當と云ふよりは、美也子の處分をどうするかと云ふことに歸着するのであつた。いや、美也子の自分に對する本心はどうなのか、自分から離れようとしてゐるのか、それとも、彼女の云ふやうに忠實で、自分の身を思ひすぎてしたことなのか。――もつと具體的に云へば、彼女の愛情を自分のもとにつなぎとめて置けるかどうか、と云ふ點になるのだ。

彼女の行為はまだしも許せる、だから、丸の內との約束を破棄さへ出來れば、何もなかつたことにして、もともと通りにしてゐていいのだ。

そして、[illegible]

飲過食過より起る!

下痢と腹痛によくきくヘルプ

何故?

▼下痢をするのは……不消化と腐敗作用とが原因であるから、ただ一時的に止めたのでは却つて胃腸に害を殘す事がある。消化と殺菌作用を兼備せるヘルプの治療が安全

▼顔色の惡いのは……胃腸虚弱者の為め如何なる滋養物の食物も下痢の都度、滋養の大部分を排泄せられ次第々々に身體が衰弱し氣力失せ顔色が惡くなるのである。

▼痩せて元氣なきは……胃腸虚弱の為め榮養不良となり自然と元氣がなくなる。ヘルプを用ゆれば腸の機能を整へ胃の消化を助け滋養の吸取力を旺盛ならしむる為めに又元氣潑剌。

▼惡疫に罹り易きは……常に胃腸健全なれば惡疫菌も胃中にて撲滅し得らるゝ事は已に醫學上の定說なり。

胃腸カタルの藥

柏村博士創製

ヘルプ

こんな時ヘルプ

■急性の下痢腹痛の時……八錠
■食べすぎた腹工合が變だと思ふ時……四錠
■食後何となく腹工合の惡い時……三、四錠
■大便行中には水あたり、食傷、時候かはりに……四錠
■胃腸を害し易し時々……三、四錠
■二、三錠の常用は健胃整腸に効あり

ヘルプの藥効

腸加答兒、胃加答兒、消化不良、食中り、下痢、腹痛等より起る……

くだりはら はらいた
はきくだし はらはり
はらなり しぶりはら
腸カタル 胃カタル

定價 二十錠 三十錢 旅行用ポケット型 五十錢 一圓 三圓 六圓

東京・神田 本舖 津村敬天堂

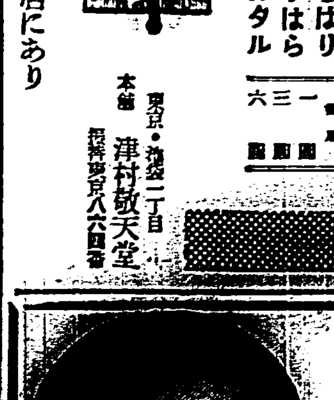
全國各藥店にあり

農林省蠶業試驗場創製の桑技葉抽出成分を主劑とせる養毛料

農學博士佐々木林治郎先生發明

ケフを止め切毛を防ぐ

ヘヤートニック



定價 壹圓 貳圓 拾錢

發賣元 東京市日本橋區本町 玉置合名會社 大阪市南久寶寺町 株式會社角倉商店

センチになつた「頑張り宇垣將軍」

「名案も浮ばん」と久し振に内庭を散步

【東京二十八日發本社特電】籠城二日半、若い者に負けず組閣本部の二階に籠城してゐる宇垣大將は午前八時トーストにオムレツと云ふ朝食を濟ませた後モーニングに濃緑のシヤレたマフラーを太い首にくるくる巻いて花の中折、ステツキ振り振り陽射す南向き約二百坪の内庭にスリツパを履いて出て來た、庭の一隅に咲き綻びた梅の木を見つけると「おゝたいしたものやね」と大袈裟に見をしたかのやうに感歎して悠々たる推歩振り、新聞記者團に包圍されつゝ「具合はどうですか」と質問されると

ウン、僕は朝晩散歩するのが樂しみなのだが組閣に取掛つてからは甲羅に首を引込めた龜の子のやうに二階に閉ぢ籠つてしまつて折角の運動も全然出來ん、その故か腹が空かん、食物は不味い、酒もうまくない、頭は重くなる、これぢや頭の方も思ふやうに名案も浮ばん、察して呉れ、國もこの所駄目ぢやと頑張り將軍にも似ないセンチな所感

組閣は斷じて志を曲げん、斯う云ふ御時勢になつたからには僕の頑張りは無駄にやならんよ、僕に文句が出來てなあと大將の組閣よりも一足先きに男の子を安産した二女榮子さんのことを思ふと愁眉も解消するらしい、孫の名前は面倒ぢやから組閣とでもつけてやらうか、こりや冗談ぢやよ、娘に恨まれるからなあ、ワツハヽヽ……と破顔一笑ひ、それから附近の留るのも聞かず痛い左足を引摺りながら庭から四尺程の高さの南側の自動車隊の屋根に這ひ上つて屋敷の周圍をぐるりと睥睨した、物々しく警備した警官隊だの陣を布く各新聞社の自動車の列、空地の中の急設便所等を面白さうに眺め雲の上から下界を見下したやうだ、久し振りに世の中を見た大將斯う獨り言を云ふと何か信ずる所ありげに緒眉を綻ばせつつこつくりこつくり頷き、軈て又龜の甲羅の組閣の家へ……

寺内陸相さつさとゆうべ官邸を引拂ひ

"夜逃げぢやないぞ……"と爆笑

【東京廿七日發本社特電】「かうなつたらもう[illegible]」とねばりにねばる組閣本部を横目に三宅坂の御大寺内陸相は二十七日の夕方さつさと永田町一番地の官邸を引拂つて偕行社の新館に引越してしまつた、廿七日は[illegible]として[illegible]く事はないといふので夕方から會計に早立ち[illegible]石鹸、タオル、寝具等をスーツケースに押し込んで大[illegible]の私邸から持つて來た大型トランク二個と共に荷造りの引越をやつて了つた、キヤデラック第一號に荷物と共に乗り込んだ寺内さんは「大臣を辭めたから引揚げるんだ決して夜逃げぢやないぞワハヽヽ……」と朗かな爆笑を飛ばす、寺内さんに關する限り大臣を辭める感傷は微塵もない、此夜寺内さんは偕行社に着くより早速風呂場に飛び込みやくやくと湯氣の立ち昇る浴槽一杯に手足を延ばし解放された陸軍大臣の氣持を悠々樂しんだ、然し後繼内閣成立迄は陸相官邸に相變らず出動するさうだ

ソ聯に反駁回答

國際列車運轉停止に關して關係各國へ經緯通達

【奉天二十七日發】ソ聯極東鐵道局長レンベルグ氏は綏芬河國境滿洲里における日滿官憲のソ聯派遣從業員監禁を口實として去る廿一日より突如綏芬河、グロデコー間の國際列車の運轉を停止しその旨滿鐵當局へ通告し來つた、當局では直ちに調査の結果日滿官憲の監禁は全く事實無根と說明したので

當局はソ聯側今回の措置は歐亞連絡[illegible]を阻止し國際連絡運輸に[illegible]を與ふ不行爲なる旨を指摘し、その責任の全部はソ聯側で負ふべきものであるとしソ聯側の反省を促す反駁回答を二十七日發すると共に、關係各國に同問題の經緯を通達した

堀口負傷して遂に判定負

比島イーグル選手を相手に

フエザー級選手權爭奪戰

【東京廿八日發】比島チヤムピオン、ジョー・イーグル對ピストン堀口の東洋フエザー級選手權爭奪十二回戰は二十七日夜國技館に擧行、來朝以來不敗を誇るイーグルを堀口が果して降し得るか非常な興味を呼び場内立錐の餘地なき盛況であつた、試合は期待に背かず最初からイーグルの老獪さと堀口の若さとが激突し合つて火花を散らすラウンズを極めたが、堀口は第二回左眼に瞼に劇しい左フツクの一撃を被つて流血淋漓となり、爾來堀口は血達磨と化して力の限りを續けたが堀口負傷で苦戰、遂にイーグルの判定勝となり堀口は始めて敗戰の記録を殘しイーグルが新たに東洋フエザー級の王者として君臨することとなつた、しかし堀口のセコンド岡本から試合後審判員の協議中場内アナウンサーがイーグルの手を擧げて勝を宣したとて抗議し再試驗を要求した

臺灣神社月次祭

台灣神社では二十八日午前八時から月次祭を執行し同四十分終了したが式中小林総督は中村秘書官を、陸軍司令官は織田副官を随へ何れ

東線を强化

天氣の惡い時は基隆沖合を紆回

ヒバリ號を三十日福岡から臺北に空輸

宜蘭飛行場の地盤軟弱と頭王山系の雲霧の爲め冬季に入つて缺航勝ちであつた島内定期航空東線（台北―宜蘭―花蓮港間）のコースを天候如何に拘らず缺航せず一般利用者の不便を一掃する爲日本空輸會社では豫て内台定期航空の初期に活躍したフオツカーF七型3M BEOFヒバリ號を福岡支所より台北支所に移管し東線專用機として就航させる事となつた、同機は來る三十日福岡より台北に空輸されるが今後は右上空操氏が專任飛行士となり天候良好の場合は[illegible]して宜蘭經由花蓮港へ、天候不良の際は淡水より海上に出て富貴角から基隆沖合を通過して宜蘭花蓮港に飛ぶもので、從來のフオツカースーパーユニバーサル機は東線航空機なる爲め海上飛行を見合せて居たが同機の就航によりダイヤは円滑に遂行されるであらう、尚料金は從來通りであると

福建省政府に濃厚な親日氣配

長沙丸ニュース

滿洲國官吏の視察團一行四氏が便乘來臺

【基隆電話】福州北支航路長沙丸は廿八日午前八時過ぎ基隆に入港したが同船では滿洲國官吏視察團の一部が上海經由來台した、右は實業部臨時產業調査局第一科長野田四郎、民政部警務司總務科長中野四郎、外交部亞細亞科長代理参事官高、濱江稅務監督署副署長中澤武夫の四氏で交々語る

もう一班の三名は香港迄出掛けた、我々は旧曆二十八日出發、五十日の豫定で北支台灣を視察するものでスケジュールは總督府に委せてある、之と云ふ事なく各般に亙る政策施設等を調べる訳で滿洲國としても先進地の植民政策を取入れて參考に資する所が多いと思ふ、滿洲國行政機構の基礎は既に固まり唯だ一路發展への道を辿りつゝある

同船で今回轉任し歸つて來た前總督府上海駐在官前田氏二氏は語る上海における今迄の日本人階級……

米洲ゾーンに八年ぶりに出場

日本、近く正式手續

デ杯戰

【東京二十八日發】我が庭球界の參加を宣言し、デ杯爭奪に參加を宣言して内部的改造を斷行した日本庭球協會は新會長に勝田永吉氏を推し二十七日會長就任披露會を開催したが、席上勝田氏は本年度デ杯戰參加を宣言すると共にアメリカンゾーン出場を決定し、近日中に正式手續きを執る旨發表して大反響を呼んだ、尚アメリカン・ゾーン出場は今年で恰度八年振りで出場選手としては山岸（慶應）、中野（法政）兩選手は先づ確定的と見らる。

來臺した滿洲國官吏視察團

臺北市米穀統制組合の總代選擧

先般組織された台北市米穀統制組合では來る二月十日午前九時より正午迄（南部管内）午後一時より四時迄（北部管内）の二回に亙つて樺山小學校にて總代十名宛の選擧を行ふ

宿屋の小火

【基隆電話】基隆市日新町一の三二宿屋大和館飯田ミツさん方で二十二日死亡せる飯田嘉兵衞氏の供養の爲佛壇を飾つて居たが二十七日午後六時過ぎ一寸の不注意から蝋燭の火が花環に燃え移り瞬く間に座敷に延焼、消防組が駆けつけて活動の結果座敷二間の天井、襖、寝具類を焼いて大事に至らずして鎭火せしめた、損害約五百円

新竹州下市郡庶務課長會議

【新竹電話】州下市、郡庶務課長會議は來る三十一日午前十時より州會議室に開催されると

は多く西南派の反將運動の手段であつた、西南派が中央と妥協しても別に反將派があるからテロ行爲が無くなるとは考へられぬ、中國共產黨が活潑なる活動を開始し共產軍又西安に入り込んだが支那全部が共產化する事は想像されぬ、中國共產黨は問題にならぬ存在だが執拗猛烈な抗日運動は相當に注意すべきで抗日思想は民衆の心の奥深く食込んで居る、西安事件は大した事ではなく何れ近く解決するだらうが唯日本にとつて重要な事は福建一帶の防共線が侵された事である、蔣介石氏の生存は確實であるが未だ同郷會程度のもので今後擴大强化する様だ、同船で福州より歸された情報によれば福建省政府は最近以前より遥かに親日氣配を示し日本商人も出來るだけ近寄らせて註文を發しつゝあり、民衆又之にならつて在留日本人はボツボツ活氣を呈して居る、又省政府の建設工作には非常な熱意あり我出先官憲も感服して居る程であると

滿洲國視察團市内を見學

滿洲國視察團一行四氏は二十八日午前三時基隆入港の長沙丸にて來台、同十時三十五分台北驛着、督府外事課員の案内で台灣神社に參拜後、總督府を訪問、小林總督、田端長官代理、各部局長、坂本外事課長等を訪問來台の挨拶を述べ午後は博物館、商品陳列館を見學同四時荻洲參謀長を訪問の後、鐵道ホテルに入つた、尚後の三氏は三十一日香港より香取丸乘船來台の上一行と合流する筈

防遏規則を全州下に施行

その根絶を期して

マラリア

台北州にては一月二十八日告示第七號を以て州下一円にマラリア防遏規則を施行したが之に就て當局者は左の如く語る

從來は單に病毒濃厚な區域に限つて防遏方法を施行し檢血、服藥、地物整理等を行つて居るが部民の衛生思想の幼稚又は經濟的關係等の爲めに其成績は一進一退容易に根絶の曙光を見ず加ふるに州下僻陬の地方には多少のマラリアは必ず存在して居るのであるから州民擧つて之が撲滅に當る必要を感じて全管内を防遏區域に編入した譯である而して今回新に施行した區域は検血服藥の義務を負擔せしめず、專ら外部作業に主眼を置き部落の明朗化を計り獨りマラリアの防遏ばかりでなく一般保健衛生の向上を目的として居るのであるから住民は次の事項に注意し処罰を受ける等のことなき様心掛けて貰ひたい

尤も郡守又は警察署長に於て必要と認めない場所は除外せられるのである

1、住宅の内外は常に清潔にし住宅を圍繞する竹藪、雜木等は其の下枝を地上十二尺以上切拂ひ又は雜草を刈取つて通風を良くすること、但し住宅と關係のない竹藪等は含まないのである

2、住宅の陰暗な場所には出來る限り多くの窓を設け採光換氣を良くすること

3、常に防蚊裝置に注意し特に就寢時は蚊帳を用ひ、蚊に刺されない様留意すること、住宅附近の水溜等は各自に排水や埋立を行ひ蚊族の發生を防止すること

4、住宅には必ず便所を設け屎桶の如き物は順次使用を廢止し生活の改善を行ふこと

5、其の他警察官吏又はマラリア防遏員から種々必要なことを指示する筈であるからよく守り違反せない様注意すること

荒木氏から謝電

二十七日離台した荒木正次郎氏より本社長宛次の挨拶電が届いた

離台に際し官民各位の御交誼に對し厚く御禮申上ぐ

▲内台間定期航空

上り便グラス機「富士」は二十八日午前五時二十分に台北飛行場を出發の豫定であつた所台北那覇間に低氣壓發生し天候不良のため二十九日に出發を延期した

山東丸より

（來航）北の和風、雲、船客一同元氣、二十九日午前八時基隆港外着の豫定（二十八日正午無電）

野島が入港

川添市尹らが出迎へ

【基隆電話】特務艦野島は二十八日午前九時基隆に入港四日間碇泊したが[illegible]出迎へた[illegible]を済ませ二十九日午後入港の豫定

らモンペリーで開催する、會費不要（但し新規會員に限り四円）二十八日までに台北市榮町近藤商會内同會事務所あて通知されたいと

あすの天氣

台北地方　東の疾風雨後曇

北部　北東の疾風雨後曇

東部　北の疾風驟後小雨

西部　北の疾風曇

南部　北の疾風曇

概況（廿八日）七八〇粍の高氣壓はバイカル湖方面に滯留し七六〇粍の低氣壓は北緯三〇度東經一二七度即ち九州の南西部海上にあり東北東に進む模様。本島の天氣は全島殆近海は北東の和風曇海上は穏かであります。

潮汐（廿九日）

	滿潮		干潮	
	前	後	前	後
基隆	一・二〇	一・一〇	五・四〇	五・五〇
淡水	〇・二〇	〇・五〇	七・二五	七・一〇

今晩の映畫

●新世界館　晝十二時半上映
1 浮かれ三人道中記　午後零時半分
2 青春涙あり　同四時十分
3 大江戸七不思議　同八時五分

●芳乃館　晝十二時上映
1 落第坊主　午後零時三分
2 朝日發聲ニュース　同五時五分
3 最後の江戸ッ子　同二時二分
4 自活する女　同八時分

●國際館　晝零時廿分上映
1 冊の霊園
2 國家總動員
3 台日發聲ニュース
4 大亞細亞の建設

●大世界館　晝十二時半上映
1 台日發聲ニュース
2 靴とスポーツ
3 國防金剛八千軒
4 仮女の場合

●タイゲキ　晝十一時半上映
1 台日發聲ニュース
2 勇敢玩具軍大敗退
3 あさぎり峠
4 巨星、人要[illegible]

臺日案内

書籍　常用語辭典　刊行　臺北市榮町

醫院　小林醫院（入院）　臺北大和町

内地土産　ポンカンと白柚　臺北榮町　本場斗柚文旦　矢野商店

寫眞　8ミリ　小型映畫時代來る　カメラ新古交換買入　榮町二　フタバ寫眞機部　寫眞材料及現像は

時計眼鏡　メガネ專門金光堂

料理屋　壽司天ぷら魚文　料理仕出し辨金本家　宴會・折詰　八州庵

ビクター蓄音器　蓄音器月賦賣出し

旅館　上乃湯　どうぞお越し下さいまし

金融　電話商品券買入　商品券電話債券　電話商品券債券買入

（カゴメケチヤツプの姉妹品）カゴメソース　台灣總代理店　宅商會

春マキ新種子（カタログ進呈）　臺灣種苗公司　臺北市大正町三ノ十八

感冒・肺炎・百日せき・氣管支炎　特効吸入藥　カンピロン（合理的＝吸入療法）　本品は強心、解熱、鎮咳、消炎の作用あるメチチンカンフルの注射劑を改良創製し上圖の如く一日數回之を吸入して、たん、せきは勿論上記疾病の外急性肺炎、喘息、肺結核等の全快を早む　大阪　全國藥店にあり

雜件　特許　商標　岸宮鑑　風味の良い平戸の摺味噌

キユーピーマヨネーズ　試驗準備のお子達に美味榮養のサラダ料理を

ビクター大衆盤・一枚一圓　ビクターの浪花節　梅原秀夫　寄き乳房（J二〇一九九・J二〇二〇〇）　天風軒榮龍　關山合戰（J二〇二〇一・J二〇二〇二）　木村友衛　天一坊（前篇・後篇）（J二〇二〇三・J二〇二〇四）　壽々木米若　乃木將軍と渡し守（前篇・後篇）（J二〇二〇五・J二〇二〇六）　お近くの店で御試聽下さいます

流行歌　仰ぐ銀嶺　林伊佐緒唄　處女雪踏んで　井口小夜子唄

ポリドール流行歌　江南の春　佐藤惣之助詞　奥田良三唄　東海林太郎　日本人必聽の歌！

西條八十詩★江口夜詩曲　だってネ　伊藤久男・伊豆千代唄　東京万才　松平晃・豆千代　田家の雪　音丸　忍路舟唄　千代丸　赤城しぐれ　霧島昇　コロムビア

かぜ・ねつに　ヘブリン丸

御殿女中 (173)

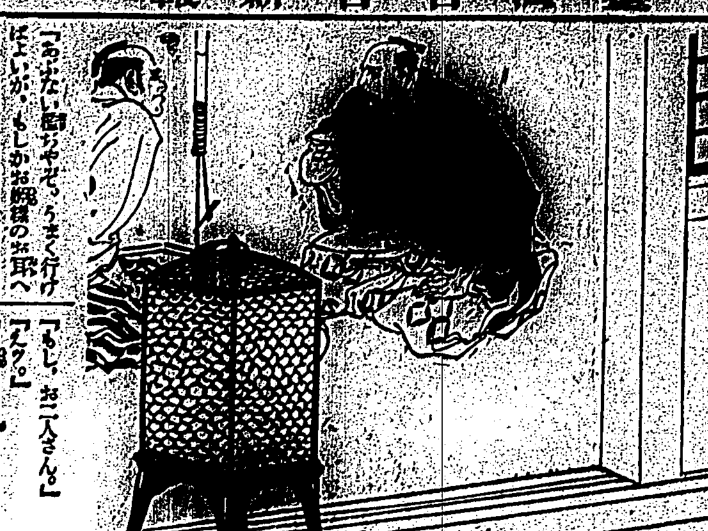
（第十四編）邦枝完二作　神保朋世画

紅梅白梅（八）

「肩書か。——」
「たしかに身の程知らずぢや。」
「あれで間もなく、大猫の餌食になつてしまふだらう。」
「その通り。猫が餌を入れてやつたもよいことになつたな。」
「大きな口を叩いた罰だ。」
「面白い〳〵」

今しがた、半次を餌にして猫の中へ投げ込んで来た二人の大男は、御殿の前へ坐つたまま、猫に飛び込んだ酒を飲み交し騒けてゐた。

「おお。」
「あのおころといふ女中は偉い者だな。」
「偉いとな。」
「あの老猫の巾で竹をちさせてしまふのは偉いといふのぢやよ。」
「それは確かに偉い。」
「どうぢや、あれを出して女房にするといふわけには行かぬかな。」



「あぶない話ぢやぞ。うまく行けばよいが、もしお姫様のお耳へでも這入らうものならそれこそどんなことになるか知れぬからの。」
「だから知れぬやうに、邸内でやらかすのぢやよ。」
「何処へ隠すつもりだ。」
「下野のお寺ぢや。」
「なに、お寺だと。」
「さうぢや。寛永寺の坊に知り人があるゆゑ、おころを勇に仕立てて暫くあすこの坊へ預けておかうといふのぢや。」
「左様なことが出来るかな。」
「出来る。」
「しかし、おころが何んといふか知れぬぞ。」
「何んと云つてもよい。こつちは手は貸さぬぞ。」
「そんな意地の悪いことは云はぬものぢや。一升飲ませる。是非とも手を貸してくれ。」
「ふふふ。貴様、女のことになるとなか〳〵執念深いな。」
「さういふわけではないが、どうもおころを、あのままにしてしまふのは、何んとしても惜しくてならぬのぢや。たとへ一夜だけでも我にせぬことには、勿體なくてな。」
「では手を貸して進ぜる。」
「貸してくれるか。」

「そのかはり、こつちにも頼みがあるぞ。」
「どのやうなことぢや。」
「おれはおむらを女房にする。」
「なに、おむらを女房ぢやと。」
「さうだ。これには貴様が手を貸してくれ。」
「しかし、あれとこれとはわけが違ふからな。」
「なんでだ。」
「おむらはお姫様の大事なお腰元ではないか。」
「大事など云へば、おころは猶更大事な料人。姫にな[illegible]出来ぬ道理だぞ。」
「と云つてこればかりは、あのままにしておいては、勿體な過ぎる——」

二人は次第に茶飲酒の数を重ねて、醉が廻つて来るに従つて、あたり憚らぬ声になつて行つた。

するとこの時、部屋の外から声をかけたのは、一人の小姓だつた。

「もし、お二人さん。」
「えゝ。」
「お姫様のお召しでございます。」
「なに、お姫様のお召しだと。」
「はい。」
「これはどうも。——」
「お姫様が地下へ行つて、半次とやらの様子を見届けて来いとの仰せでございます。」
「地下へ行けと仰しやつたか。」
「はい。」
「直ぐにまゐりますと申し上げて下さい。」

今週の映畫

松竹大船作品　人妻椿　前篇

ダイゲキ上映中

▲小島政二郎の小説を[illegible]脚色し、野村浩將が監督[illegible]る大船の傑作。佐分利信、川崎弘子をはじめとし、オール・スター・キャストになるもの

▲前篇の梗概は——実業家有村が脅迫に来たギャング[illegible]を殺つて[illegible]したので、支配人矢野（佐分利信）は孤児院から拾ひ上げられて以来の恩義に報ゆるために自らその罪をきて國外に逃亡した。遺された矢野の妻子に有村は[illegible]を果さんとしたが病のために急逝した。この二つの家庭を前提として美しい嘉子（川崎弘子）の人生苦難の行が始まつた。嘉子に野心を抱く有村の息子信也（山内光）の[illegible]によつてバアー「夜つばめ」を開いたが、その[illegible]を逃れて東京を落ちのびた。然し平和なるべき[illegible]の側に從つて[illegible]の手を脱した嘉子は、職を求め再び上京したがデパートで火災に逢つた。これを[illegible]めた[illegible]と[illegible]、一は親切の為め一は嘉子を得んが為め二人は火焔の中に死力を盡くして争つた——

誰も知らない 代役の話（上）
——映畫の裏を覗く——

すべてのことが時代と共に変化します——スターになる徑路までもが変つて來てゐます。誰でも映畫界に乗り出さうとする連中は、「私をエキストラとして使つてくれさへすれば誰か有名な監督がほんの寸秒の印象的瞬間スクリーンで私をみるでせう——そしたら成功疑ひなし！」と考へるのがつねです。極めて少数のものがその徑路を踏んで來ました、ところが今日ではだん〳〵流行つて來たトップに到る路は代役の路を辿ることです。

×

これは興味があります、何故つて代役は決して偶然に撰られたことがありません、でもその人たちは自分たちを大変幸運だと考へてゐます。彼らの一人はそれをから説明してゐます

「映畫の上で働いてゐる間私たちがする經験はスクリーンで[illegible]点から私たちの顔の瞬間の[illegible]な表情[illegible]ずつと價値があります。若し私たちが何でもいいから何らかの才能を示せば監督の眼をうけるものは私たちにスターの台詞を下稽古させます。そのことは私たちが[illegible]な「スター」であるといふことを[illegible]立てる素晴らしい機會を私たちに與へるのです。私たちが下稽古に成功すれば監督は[illegible]を私たちにさせます、それをうまくやりこなせばもう占めたものです」

と代役がエキストラにまさつてゐる点は代役の仕事の方がずつと確実で、從つてずつと割がいいのです。エキストラは自分の衣装を自分で作らなければならないが、代役は衣装部から衣装を提供されるのです。

×

代役は必ずしもスターに酷似してゐません、しかし殆ど同じ背恰好でなければなりません、でもこのことは重要ではありません。ハリイ・コインプラスはフレッド・アスター・エドワード・エヴエレット・ホートンはボッブ・ウースリイ・ランデイ・スコットのために代役をしてゐます。その人たちは[illegible]が喜びます。しかしそのことはハリイの[illegible]にはなりません。彼が自分で[illegible]した仕掛けのある一足の靴が立派にその仕事をやり遂げさせてくれます。彼の靴の[illegible]は[illegible]一ケで数インチは高くもどうでもなります。

ヴイクトア・サブニは[illegible]なフランシス・レデラアの代役をしますが、レデラアより背が低いのです。それで彼は彼を大きくするために部厚な木の踵と靴底をつけねばなりません。時に代役たちは背が高過ぎるので、もつと背丈を低くみせるために靴を脱がなければならなりません。何故といつて、一[illegible]でこそこの[illegible]でさへ完全にスターの光りを消してしまふのです。[illegible]の色やスタイルがスターと同じであるかどうかは代役にとつては大して問題ではありません。[illegible]で補へば何でもありません

聯珠行脚

戊 鈴木梅石

十四日 大牟田より

[illegible]の月[illegible]に一ぺん[illegible]が留守ない。隣人に聞くと風呂に行つたらうといふ、暫らく待つたが来ないので木物屋の[illegible]人が小[illegible]やつて[illegible]たら困[illegible]へ廻つたことが判つた。約一時間余も待つて帰つて来られ[illegible]の[illegible]を挑んで[illegible]に移るや、純一と各[illegible]化は[illegible]で直に[illegible]を[illegible]せられ、同道して大牟田行となる。[illegible]に[illegible]打合せの[illegible]、十四日午後七時より[illegible]町のハルビン會館に會合するに決し、[illegible]。十四日[illegible]セメント[illegible]三[illegible]を訪ねた。氏は[illegible]を[illegible]川[illegible]と[illegible]し、[illegible]、今[illegible]を為して[illegible]る

十六日 大牟田より

次いで[illegible]町[illegible]に[illegible]を訪ねた所、折よく[illegible]の[illegible]を始め[illegible]に[illegible]で[illegible]であるハルビン會館に[illegible]して[illegible]一[illegible]、松本一[illegible]して[illegible]のので、例に依り[illegible]して[illegible]の合理化と[illegible]一の[illegible]を[illegible]し、[illegible]氏と[illegible]に及んだ

十五日は[illegible]大牟田[illegible]の[illegible]を[illegible]し、夕[illegible]から[illegible]の[illegible]を[illegible]いて見た[illegible]、[illegible]、[illegible]、久留米[illegible]かなり[illegible]は[illegible]つて[illegible]が此[illegible]は[illegible]で[illegible]なのが[illegible]つてある。[illegible]で[illegible]いのがスマートな[illegible]サージの[illegible]ですらりと[illegible]び、いとも快活にして[illegible]なサービスよろしく[illegible]する。[illegible]山辺に[illegible]を[illegible]つてゐた[illegible]の[illegible]化したものと見れば何でもないやうなものの、[illegible]つて回ると[illegible]されては[illegible]に[illegible]へぬ、[illegible]のでオールドボーイも[illegible]つけられて[illegible]やら[illegible]やらに[illegible]十時[illegible]へ[illegible]ると[illegible]一[illegible]が[illegible]へて[illegible]十[illegible]に及び一[illegible]れて[illegible]る

思案に餘る 婦人病相談

最寄藥局でも解決します
容態と一致する手當法が待ち構へてゐる
論より證據直ぐお出なさい

どの容態にも良い 醫學博士 木村 仁

[illegible]

こんなのは治ります

問 [illegible]になつても、あるべき[illegible]の月経が全然ないのと、月経はあるが少ししかないのとあります、治りませうか。

答 [illegible]の作用が[illegible]、[illegible]によつて妨げられると[illegible]ない、又[illegible]ることがあります、治るけれども[illegible]の如何によります。

問 月経の[illegible]に[illegible]の一月[illegible]、[illegible]がひどくて床につかねばなりません、手當をお教へ下さい。

答 よく見ると月経の血は固つて居りません。又[illegible]の[illegible]の[illegible]な出血あるなら[illegible]といつて、[illegible]のあると[illegible]が[illegible]出される[illegible]です。[illegible]した[illegible]を新しく作る[illegible]ワセトン錠なら一番です。

問 [illegible]が[illegible]に[illegible]ます。[illegible]を用ひてますが[illegible]れ出て[illegible]ります。

答 [illegible]の[illegible]は[illegible]の[illegible]を[illegible]つたために[illegible]に[illegible]ついたり[illegible]したりした場合、或は[illegible]のために内臓が[illegible]したりしたときです。[illegible]ない[illegible]もよく使へるワセトン錠の様な[illegible]もあります。

問 [illegible]人の[illegible]して下[illegible]が冷え、[illegible]、耳鳴りもします。

答 [illegible]して[illegible]に[illegible]するのは[illegible]の[illegible]と出血です。これが[illegible]になると[illegible]くて[illegible]が下[illegible]に[illegible]が[illegible]り、[illegible]より下は冷え、逆上、頭痛、耳鳴りもします[illegible]ほど[illegible]いものはなく、[illegible]が[illegible]してもう[illegible]には[illegible]がないといふときでも、婦人の[illegible]前後の[illegible]い血の中には[illegible]と[illegible]を見え出すことがありますたら、最初から[illegible]や[illegible]い[illegible]は用ひぬやう。[illegible]は[illegible]しません。

問 [illegible]下に[illegible]がかあります、どうしたら治りませうか。

答 [illegible]で[illegible]にかかるほどの[illegible]いがあれば生理的でなく、[illegible]はワセトン錠で[illegible]に消え去ります。

破格のお値段 ワセトン錠六日分七十錢・十二日分一圓廿錢・廿四日分二圓二十錢・卅六日分二圓四十錢でどこの[illegible]でもある。[illegible]切れとか[illegible]のお求めに[illegible]へ代金[illegible]か、[illegible]か・[illegible]でお[illegible]になれば[illegible]します。[illegible]も[illegible]へる[illegible]の[illegible]一[illegible]一[illegible]御[illegible]に[illegible]ます。

總代理店 [illegible] 河原商店

「女性の新生理學」[illegible]

九州帝國大學病院御使用

臺北市金園 [illegible]

火鉢の引出
猫も氣づかぬ
萬年相對の鍵
ハート美人
ホワイトハート
シルバーハート
御近所の藥店でお勵め下さい

陸軍藥局方收載
淋病内服新藥
ツヨール
淋病内服新藥
ツヨール
製造元 東京日本橋・[illegible]製藥合資會社

髪洗ひ
花王シャンプー
清新！
花王シャンプーで洗へば
一點の汚れも止めず
お髪の容が凛と冴えます

東京・花王石鹸株式會社長瀬商會 大阪

凡ての發熱性並に疼痛性疾患例へば流感、肺炎、肋(腹)膜炎、肺尖カタル、ロイマチス、神經痛、腰痛、肩凝、關節炎、火傷、歯痛等に應用すれば手數を要せず用法、簡便にして一回の塗布よく長時間効力を持續す。

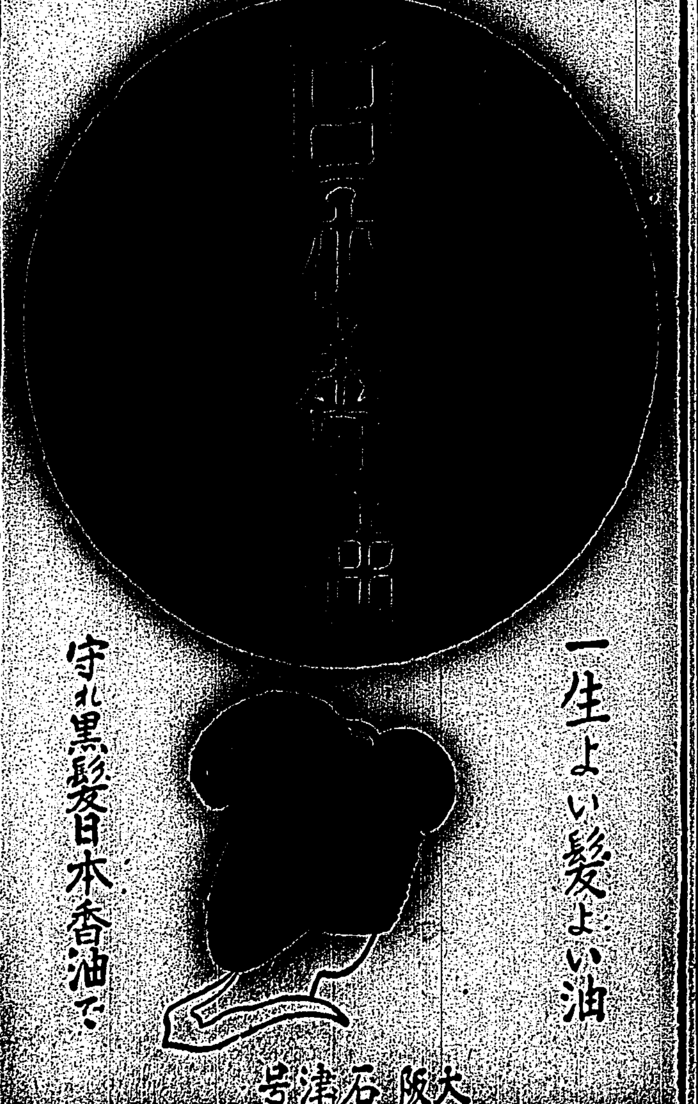
御注意 近時類似粗惡品多數あり御購入の際にはかならず「エキホス」と御指名を乞ふ。

包装 一〇〇瓦 二〇瓦 [illegible]

發賣元 武田長兵衛商店 鹽野義商店
製造元 二巴合名會社 大阪市[illegible]

A—22

●毎晩勉強、疲れて不快・毎朝ノーシンすつかり愉快●



陸相後任推薦之事 決定再行懇請軍部

宇垣大將歷訪陸相總監歟、三長官會談席上再懇請歟

【東京二十八日電】宇垣大將。去二十七夜。與今井田淸德氏協議。徵之時局之重大。其期組閣完成。最爲適當之措置。決定先決後任。更請推薦陸相後任。卽訪宇垣大將。二十八日。或訪寺內陸相。並杉山教育總監。或於三長官會同席上。再請推薦。然軍部態度依然強硬。宇垣大將。再請推薦。必再拒絕已明。宇垣大將組閣工作。恐因此或致後命見。至於決定破局云。

拒絕方針不變 大命從速拜辭

陸軍期待宇垣大將

【東京二十八日電】宇垣大將。訂二十八日中。再訪寺內陸相。及陸軍首腦部。懇願推薦陸相後任。然陸軍依然堅持既定強硬態度。期待其一刻早拜辭大命。縱宇垣大將。再訪問再懇請。而陸軍亦必直訴三長官。爲此拜下結局。對於部內統制保持之候補者。全部與之交涉。無不拒絕入閣。其他別求之事。此時全然不能之事情。以期宇垣大將。從速拜辭決意。卽陸軍於宇垣內閣絕對陸相後任造不得之方針。依然不變云。

如終拒絕推薦 求示反對理由

宇垣陸相關係緊張

【東京二十八日電】宇垣大將組閣。陸軍強硬反對。不爲推薦陸相後任或傳組閣本部。訂二十八日。再與陸軍首腦部會見。再請推薦。陸軍如更拒絕之時。必求明示反對理由。卽行主張此強硬論。宇垣大將。此點和決意。究竟陸軍如再不爲推薦。宇垣大將。或求陸軍首腦部。明示反對理由。亦未可知。陸軍對此所辯。宇垣大將。拜受組閣大命。如求一會見。不之拒絕。唯反對理由。今日商軍且就緒之際。再使部內反目。致兩者俱傷。爲陸軍所不敢。宇垣大將。如提出此問題。宇垣大將與陸軍之間。或爲展開緊張場面云。

宇垣內閣絕大難關 廿八日中成否當見一決

【東京二十八日電】宇垣大將。二十八日。起死回生之道。果如何耶。此點所最注目。陸軍入閣拒絕。爲絕大難關。安能突破。二十八日。問題當有一決云。

双方明示方策爭點

社大黨發表聲明書要望

【東京二十八日電】社大黨。二十七日午後。發表聲明書如左。

宇垣大將組閣。因與軍部關係。以致難局。事態眞相何在。實國民所難理解。宇垣大將。此際宜明示國家革新組閣方針。軍亦宜提示其懷抱具體方策。卽將其爭點。明示國民。

宸襟奉惱不勝恐懼 院議發表國民意思

尾崎行雄氏進言於議長

【東京二十八日電】尾崎行雄氏。二十七日午前。以第二控室山川大吉郎氏爲代理。訪富田議長。告以現下時局所關。宸襟奉惱之事。不勝恐懼之至。今日憲政危機已迫。幸議會在會期中。乘此以院議。發表國民意思。奉安宸襟。信爲議會當然責務。欲得政民兩黨贊成。開各派交涉會。富田議長。同午後四時三十分。卽在官舍。求見小泉又次郎(民政)安藤正純(政友)兩氏參集。相與協議結果。其以暫且靜觀。爲最適當將情回答田川氏云。

伏見宮殿下 急遽御歸京

【東京二十八日電】島田軍令部次長。二十七日午後拜謁熱海御別邸御滯在中伏見軍令部總長宮殿下。報告其後政情。同夜歸京總長宮殿下乃御變更豫定二十八日。急遽御歸京云。

蓬萊糙米亦欲買上 標準粟定臺南州產

今後欲試藏糙米

政府欲買上新米七十萬石。據下古米四十萬石。買上協定數量中。蓬萊米。朝鮮米亦在內。二月五日將受付保證金。翌六日申入。八月乃決定。於臺北買入。花蓮港廳投受。買入種類卽二期蓬萊種。麻袋入糙米或粟。糙米乃四斗以上者。一日市入數量。糙米百袋以上。粟二百袋以上。授受米同一等級米。糙米須二十袋。粟四十袋以上。保持金糙米一袋一圓以上。粟五十錢以上。授受期限二月二十七日。內外地米。不定比率。欲由標定價格以下之廉米買之。夫臺灣米買上。欲買糙米。蓋以米價向上所致。臺北米穀事務所。欲乘機試驗糙米寄東北之岡谷及糙米貯藏。如得成功。則貯米可充多數倉庫。去二十七日午後一時半。於該事務所。開買上蓬萊粟標準查定會。農林省派員。督府米穀課財津技師。元山米檢技師。移出米商組合。正米市場。米穀商同業組合諸營購者。決定臺南州產上粟及普通粟。二時半散會。又糙米於臺灣檢查糙米不另查定標準米標準粟之勝與分等。上粟須七成八分。普通粟須七成半以上。水分含有率。須在一成三分以下也。

運輸研究 在鐵道旅館

開幹事會總會

鐵道部之運輸研究會幹事會。及總會。月二十八、九兩日。午前九時起。開于鐵道旅館。幹事會有全島九驛事務長。總會有全島百三十驛長。及本部泊部長。各課長。運輸課各係長外係員等出席。就協議事項六十五條。交換意見云。

臺北市軍備座談會

廿七日官民會於公會堂

爲備無條約第一年。使島都市民。認識軍備充實之急務。並交換都市防衛之意見。由在鄉軍人聯合分會。同州聯合會。臺北州國防義會共同主催。去二十七日下午二時。在市公會堂大食堂。開軍備充實座談會。有厚東分會長。西川副長。矢野州地方課長。緒方海軍武官。桑名第一聯隊長。松本大佐。山本中佐。楠井少佐。葛西憲兵隊副官。石井市尹三輪內務部長。曾鄉軍。防衛團。銀行。會社幹部各學校長等出席。首由桑名聯隊長就陸軍軍備充實與其精神。及蘇俄與中國軍備狀況。列強兵器整備狀況等。詳細說明後。強調軍備充實。爲最大急務等。次厚東少將就座長席開座談會。席上就臺灣總督府特別會計。負擔軍事費。軍事藝綱充實。鄉軍。青年團。防衛團之平時加以軍事的訓練。爲備一朝有事。本島各種工業進備轉換爲軍需工業。未教育補充兵訓練。特科隊設置等。交換意見。續有山本中佐說明總動員計畫一部。松本大佐說明大阪都市防空施設實況。桑名聯隊長說明各地座談會內容。然後由厚東座長提議實際投下爆彈。使市民觀覽。以資防空思想普及得滿場贊成。乃由主催者向軍司令部交涉。右會至六時散會。

鹿港製鹽總會

配利六分四

鹿港製鹽會社第十二回定時株主總會。去二十四日午前十時十五分起。開於該社事務所。首由施社長述開會辭。丁專務報告營業概況。葉監查役報告監查狀況後。進入會議。諸承認事項。俱照原案可決。取締役監查役改選。得株主贊同。全員重任。議畢次陶山所長述訓示。由口街長躍起致祝。祝電朗讀。於是宣告閉會。會議時間僅五十分間。按該社當期純益金一萬七千九百餘圓。配利六分四厘。積立金五千圓云。

斗六保護委員 擧委囑式

斗六郡更生會。自昭和七年四月創立。此次爲圖內容之充實。並防止再犯。設置保護委員制。去二十七日午後一時。假郡會議室。由本田臺南刑務所長。山田嘉義刑務所長。川崎州屬閑林敎誨師中松郡守。山田山下兩課長郡下街庄長。小公學校長方面委員等臨席。首由山田課長開會式。中松郡守。對左記諸氏。交付保護委員辭令並式辭。來賓本田。山田兩刑務所長及川崎州屬繼述祝。然後閉式。續開閑林敎誨師之講演會。

▲保護委員 斗六街阪根溫良。謝進乾。古坑庄賴新居。陳海生。斗南庄洪惟許克。大埤庄陳北。莿桐庄陳得喜。鍾福春。

梧棲信組總會

大甲郡梧棲信用組合第二回通常總會。於二十五日午前十時。假舊公學校開會。監督官橫山郡守。及筒井庶務課長。其他來賓多數列席。常務理事楊棟氏叙禮就議長席。時總代員陳東海陳媽連陳珍盛諸氏。極力反對低利資金貯於銀行。及將利子降下。其他旅費交際費等過多開費。次由監事陳紅淋氏詳細說明。滿場議論紛々。又有總代員。起述組合員無書記某中。對貯金組合員無

銅線被竊

圓山警察電話

臺北淡水間警察專用電話線。自圓山鐵橋至宮之下驛間線。長約五十尺。至二十六日下午二時。發覺被剪斷竊去。現由北署搜查犯人中。顧鐵材暴騰。此種惡質犯罪。將漸見發生。故當局嚴重警戒中。又淡水方面警察電話。一時不通。至二十七日午前十時復舊開通云。

逃妻發見

既報竹山郡竹山庄山坪頂人。陳里兒之妻。蔡氏塗年四十二。及該庄秀水坑人。蘇有情之妻。陳氏合笑。年二十九。於客年九月間出門。不知去向。後依其本夫。提出搜查願。嗣後途于本月二十日。在屛東郡下淡水溪工事中。被里兒探知。往爲帶歸。但合笑雖于客臘潛歸庄內然尙不肯回家。聞其夫擬提出告訴云。

讀等情。但山議長代爲道歉。始通過原案。午後五時閉會。

高雄州會第三日 一瀉千里可決閉幕

最後選擧參事會員

高雄州會第三日。去二十七日午前九時十分開會。議付許受全氏缺席外。其他二十五名出席。繼前日續開第四號議案歲出經常部第八款勸業費第二讀會覽氏問岡山郡下道路々樹伐採理由。富岡參與答以爲道路大狹。有妨害自動車通行。李才祉氏詢產業組合之紛糾。豈非爲組合指導精神不徹底歟。由宮本參與答辯。謂將使役職員及組合員自覺。涵養組合精神。以防止紛爭。次就第九款水利事業費。第十款地方改良費。第十一款社會事業費。第十二款史跡名勝天然記念物保存費。第十三款財產費。第十四款居場浴場設備費。第十五款州稅取扱費。第十六款諸支出金。第十七款防衛費等。一括上程。有劉棟氏質問。謂私設埤圳調查方針如何。屛東郡多奈蕃社溫泉。湧出量豐富。施設浴場設備何如。又社會事業費。豈非過少乎。高原參與答云爲圖水利統制。現正調查中。溫泉場之施設。因正注力于產業方面。故未皆計及。次土居參與就社會事業費答辯。謂社會事業經費。非僅全額州負擔。尙有助成會之協力。豫算雖少。無須杞憂。而第十八款豫備費。讓于最後審議。卽入臨時部。第一款[illegible]

內海議長答云該問題。既於第一讀會論議。然欲以知事答之。各種事業。勿論欲于當該年度內實施。惟爲大候關係。並其他事情。不得已延于後年。此時白石氏。詢參與於前日質問時。會云土木營繕費屬臨時部。欲于居時答辯。於是由富岡參與。詳細答辯。乃入第四款勸業費。陳秋金氏。希望計上高雄州米宣傳費。芝忠一氏。謂南華南洋調查員。當局似無指定調查要項。漫然視察。想無甚效果。又十二年度。派遣人員。及銓衡方針如何。由家村參與答辯。淸水氏質問特殊農作物。及輪間作獎勵費之用途。山火飼參與。簡單答辯。芝氏問蔬菜栽培獎勵方針。及指導園質類。山火飼。家村兩參與答辯。次第五款記念公園造營費及第六款補助金。第七款河川工事費負擔金。第八款河川工事費負擔金取扱費。第九款公共用地施設費。繼續費本年度支出額。第十款新埤橋架設費繼續費本年度支出額。第十一款財產買收費等。一括上程。陳岸溪氏再三要求發言。因議長不肯。漏出不滿意見。議長答以不聞。陳氏謂與其乃許其發言。陳氏謂與其交付補助金於產業組合。寧以補助金。交與產業組合協會支行。使之發揮其機能。開陳希望。繼第十二款州費金。及第六號議案十二兩年度新埤橋架設費繼續費期並支出方法件。一齊上程。由高原參與說明。省略讀會。卽見可決。第七號議案臺灣州稅規則施行細則中改正件。亦得滿場一致可決。次入經常部各款及第十三號議案不拔檢查手數料規定制定件。同時上程。全部可決。其次大臨時部及殘餘各號議案。逐次上程。省略讀會。無一質問。一瀉千里議成立。滿場一致可決後。選擧州參事會々員並補充員。當選者高千城夫。阿久澤榮。李飛法。白石喜代治。高橋傳吉。陳光燦補充員高木格郎。中村一造。李才祉。芝忠一。假塚寬。潘致祥諸氏。終由內海知事叙禮。白石氏答辭。正午閉會云。

臺中州會第一日

希望實施義務教育

其他議案均平凡質問

臺中州制度改正後初次通常州會。二十七日午前九時半。開于州會議室。傍聽席有藤田市尹。大屯彰化各郡守。臺中彰化兩市會員其他等兩員。臨席官則府地方課持永酒井兩屬臨席。松岡知事宣告開會。並述州治概況約五十分。次山口義竟氏答詞。次報告出缺席議員氏名(缺席一名)。及議員席次。參與員等。會議錄署名者。指名前田八十松。張棨生兩氏。議事日程報告。乃入議決事項。自第十四號至同十七號議案。省略讀會。無異議可決。同十一時半起上程。

▲第一號議案昭和十二年度臺中州歲出歲入豫算案。入第一讀會。首由本多屬朗讀豫算案。佐治參與詳細說明。十一時二十分休憩。零時四十分續會。張棨生氏就保健組合之普及內容。及對州下結核患者當局方策。沙眼防遏及衛療方法。一初等教育方針等質問。繼于昭和十五年卽皇紀二千六百年之機會實施義務教育。對此財源半額由國庫負擔。半額由祭祀公業寄附如何。由桐林佐治兩參與答辯。寺田淸三郎氏就社會教化之重大使命。在于養成國民的信念。若單爲形式的民風作興運動。或就神宮大麻之奉獻實績。作特殊事情之下。有疑問之處。乃引用二三實例。而要望其徹底。由佐治參與答之。山下金二氏溯蕃地爲內地人移民。培植大和魂。而教育歸教育課。授產歸勸業課。各行其番地敎化方針改革。並對近年地之蕃地。編于平地。斷行行政機構改革如何。其他迎諸問題。于小公學校設置家事裁縫專任教師。對內地移入之教師待遇改善。設置女子教員養成所並就四年制義務教育辦有發質問及要望。由宇野佐治。二宮各參與答辯。蕭敎仁氏。謂竹造林改良及獎勵。海埔及山地開放。農業學校設置于郡部(員林)如何。由佐治。桐林各參與答之。午後二時半休憩十五分。同四十五分再開。佐藤房吉氏就彰化街路。希望更爲指導路。土木修繕費適用于保甲道路。農業學校敷地所附之有無。三十萬圓不以起債而以繰越金充之如何。十二年度。有無新設彰化中學之意思。由阿部宇野兩參與及議長答之。次山崎氏就街庄長待遇改善。祕有打破時。若欲慎重處置。于內臺融和。有恐懼惡影響。次山線鐵道問題爲其他。山二宮宇野參與答辯甲。氏就保甲制度。存在與街庄役場相矛盾之點。希望善處。山宇野參與答辯。四時五分。山本宮與動議。于第一讀會未了中閉會。第二日二十八日午前九時。繼開第一讀會。以外報告附議第五號、第六號、第七號、第八號議案之日程。

臺南州會第三日

初等教育費陳情案決定

臺南州會第三日二十七日午前九時開會。直入議事上程

▲第四號議案十一年度特別會計罹災救助基金歲出入豫算。

▲第五號議案借入金之關係。

以上無異議可決。

▲第六號議案司路改修費年期及支出方法件。

▲第七號議案州稅規則施行細則中改正件。

亦無異議可決。至是日程全部告完。乃就前日動議之初等教育費半額歸國庫負擔法。對督府陳情所開種々討論。暫時休憩後。由和中委員朗讀陳情案。一致贊成。途決以州會議長之名。提出于總督。會議錄署名者。議長指名[illegible]林江漢南氏。[illegible]議長閉會。[illegible]

衆友會第四回公判

訊問會宜其他事實

來一日終了判決十五日

衆友會事件第四回公判。去二十七日午前九時四十分。開于臺中法院。二反田裁判長主審。由岡。阿部兩判官陪席。柳澤檢察官立會。傍聽席僅家族數名而已。由裁判長繼訊問被告答云。年四十一之事實等詳細開陳後。就現在心境云彼答宗教。已悔從前之不是。而前覺大處分。爲是審理完了。續訊問王木。年四十七。何賢年三十七。[illegible]被擧南屯。西屯兩派出所及作罷之經過。並昭和六年八月二日。在淸水街帽子商樓上。與同志十餘名磋商會員獲得。及資金調達方法。並計畫僞造紙幣衆友會々員名簿隱匿等。[illegible]

淸水街賭期米案

罰金科料千二百餘圓

大甲郡淸水街山腳庄林六八千圓。辻川洪兩刑事。被人向警察課。告訴詐欺卽捕林六留審。判明林六詐欺金項。皆爲於期米及其他等。逸日來召喚期米賭博關連者四十七名。一々取調。至二十五日取調明白。受品川行政主任。卽決言渡。陳森源外四十六名。罰金或科料。合計金千二百二圓內中。有某有力者亦名參加。此回賭博罰金。稱郡下未有之檢擧云。

烏牛欄信組

票選理事

埔里街烏牛欄信用組合通常總代會。去二十六日午前九時。開于烏牛欄保甲事務所。來賓有臺文郡守代理。林街長。外多數列席。總代五十名出席。役員組合長。宣告開會。就議長席。[illegible]

藉詐欺。許諸利。臨非隊永泉。謝源發。蔡阿法。最後有養父庶務課長訓示。午後三時半閉會。

乘自轉車橫過鐵道

被火車撞傷

縱貫鐵道。去二十六日午後九時十一分。有南下列車。至民雄驛北方三百米之地點進行中。適新營郡白河庄白河四九二李水速。年二十九。乘自動自轉車。欲橫過該道入民雄與列車側面衝突。水速顏部口部。受約一週間之打傷。而自轉車全毀破壞。損害約百八十圓云。

竊燭臺香爐等

被刑事拘去

嘉義署北園刑事。去二十六日午前五時許。在市內密行中。至新富町六丁目元保甲事務所前。發見一人竊取燭臺及香爐。卽捕入司法室訊問。其人爲東石郡朴子街[illegible]四科三犯陳武聰。年四十五。其人於去十二月二十五日。始自臺南刑務所釋放。不爲改悛。今方一[illegible]

竹山

道路完成

竹山郡竹山街和興新設之自動車道路。自竹山至[illegible]。及過溪橋路之過溪橋架設。始於客年十二月着工。本月二十八日下午六時。招待官民有志多名。在竹山街[illegible]。閉式後。

結果。外間有爲取締竹山市內門前米粉製造工場之布袋甚多。日下留置嚴究中云。

竊盜侵入

竹山街永和街[illegible]。去二十六日午前一時半。有賊侵入房內。將欲取財物之際。被家人發覺。大聲呼喊。賊乃逃去。[illegible]日不知去向。目下[illegible]搜查中云。

巡視感想

竹山郡守。初巡視郡下。約經一週間。去二十五日。如竹山郡下巡視之感想。水利問題之解決。道路之開設。[illegible]一竹山物之竹材加工事業。[illegible]

人事

▲臺南老松[illegible]氏之令三郎[illegible]與[illegible]信用組合長[illegible]氏令嬡女月[illegible]結婚。月二十八日迎娶。男[illegible]。

▲臺北市[illegible]氏之舉行。[illegible]町本二十九日午後三時。在其[illegible]自宅舉行。

商況 (廿八日)

米況

正米市況前場

▲二期蓬萊米	一〇、七三	一〇、七〇	一〇、八一
▲二期在來米	一〇、八八	一〇、五〇	[illegible]

期米

大阪期米前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

神戶期米前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

株式

大阪短期前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪長期前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京短期前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京短期取組喰合

[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京長期前場

[illegible]	[illegible]	[illegible]

公債

東京銀行債券

[illegible]	[illegible]

東京長期總取組

[illegible]	[illegible]

細肖株式

[illegible]	[illegible]

東京國債前場

[illegible]	[illegible]

爲替

外國爲替

[illegible]	[illegible]

神戶對外爲替

[illegible]	[illegible]

肥料

神戶豆粕前場

[illegible]	[illegible]

シカゴ小麥

[illegible]	[illegible]

砂糖

紐育

[illegible]	[illegible]

倫敦

[illegible]	[illegible]

銀塊

大阪現物

[illegible]	[illegible]

大阪淸算前場

[illegible]	[illegible]

外國金塊

[illegible]	[illegible]

絲況

大阪綿絲前場

[illegible]	[illegible]

大阪棉花前場

[illegible]	[illegible]

大阪人絹前場

[illegible]	[illegible]

橫濱生絲前場

六月限	八六二〇〇

臺灣日日新報
本日夕刊十六頁

電機學校講義錄

文藝春秋

七十議會に於ける軍部と政黨

議會攻防心得帖

戰時大衆生活 蜷川虎三

赤露對外交戰術論

軍需財閥發生記

年頭所感 宇垣一成

イギリス[illegible]

私生子論 瀧川幸辰

時事新報沒落の檢討

國民政府の新動向

對支外交惨敗の跡

久米正雄自傳

朱子文論

唯物論[illegible]

[illegible]の批評 中條百合子

演説雜記 高田保馬

[illegible]雜談 武者小路實篤

今の書 柏子木

俳句

隨筆

春の閑談會

創作

山の湖 眞船豊

生理 高見順

潮風

清淨と美容の二重効果

クラブクレンジング用クリームは一種獨特な洗顔用のクリームであります

これを使ひますと肌の汚れや、垢が肌の表面ばかりでなく、皮膚の深部に至るまで綺麗に拭きとる洗顔用クリームとして大變優れた清淨效果があります。又それのみならず配合香料の配合によつて生地から肌を美しくする美容效果をも兼ねた優秀なクリームであります。

斯うしてお使ひ下さい

クラブクレンジング用クリームを指頭から掌へ指先で輕く一面に擦り込み、暫くしてタオル、ガーゼ又は脱脂綿でよく拭き取るだけで肌の表面は勿論皮膚の深部まで綺麗にします。特にアレ性脂肪性の方にも効果があります。

優秀なるこの特長

化粧落しに
マッサージに
肌の手入れに
ヒゲ剃後に

クラブクレンジング用クリーム（洗顔用）

商業登記公告

改正臺北市全圖

タバコのみの
歯磨スモカ

味の素

月經

不順、月經寡少、月經痛、神經衰弱、歇私的里、頭痛、逆上、心悸亢進、腰部・四肢冷感、視力減退

オバホルモン

武田藥品

米穀の外國輸出計畫 臺灣の持つ餘力は充分

[illegible]

三

[illegible]

四

[illegible]

五

[illegible]

宇垣大將は依然組閣を斷念せず

局面打開に飽迄努力

【東京二十八日發】宇垣大將の組閣に對する意思は極めて強固なるものあり[illegible]組閣を斷念せず、更に第二段[illegible]第三段の方策を講じて局面を打開すべく努力してゐる[illegible]

昨夜心境を語る

【東京二十八日發】宇垣大將は二十八日午後七時五十分組閣本部で左の如く語った

時局は目下最も大切な場合に直面してゐるやうに考へるので組閣に着手して以來既に旬日も經つたが尚最後の御奉公として何とか打開する途に就き折角苦心してゐるところであります

更に時日の問題 御猶豫を仰ぐ事は考へて居られない

組閣本部で今井田氏談

【東京二十八日發】組閣本部で今井田清徳氏は二十八日午後[illegible]左の如く語った

問 大將は君部の方向へ向つてゐるか

答 [illegible]

問 [illegible]

答 [illegible]

殘るは特殊手段

現實問題としては期待されず 斷念の外なき情勢

【東京二十八日發】今井田清徳氏の寺內陸相訪問の顛末に關し陸軍では全然口を緘してゐるが恐らく今井田氏は宇垣大將の意を體し對陸軍折衝の最後的方法として

一、先づ宇垣大將と寺內陸相の[illegible]

二、併せて三長官において[illegible]

る意思ありや否や[illegible]

一、宇垣大將より會見申出があれば決して拒絕するものではない

二、但し陸相後繼者問題に就ては宇垣大將も既に承知の筈である如く陸軍としてはあらゆる方途を講じ、しかも二十六日は三長官會議を開き[illegible]

[illegible]

一、二の方法に就て考慮する所迄來た

今井田氏談

軍部の回答は待って居ない

【東京二十八日發】今井田清徳氏は二十八日午後二時三十分組閣本部で左の如く語った

宇垣大將が陸軍首腦と會ふことは今の所ないと思ふ。今日中に寺內陸相に會ふか否かも未だ決つてゐない。私が大將の使として何處かへ赴くことも外から人を呼ぶことも決定してゐない。時日が切迫することに就ては非常に憂慮してゐる。從らに遲延することのないやうにしたい積りである。[illegible]

[illegible]

古莊本部長東上

【門司二十八日發】古莊部長は[illegible]

伏見總長宮殿下 きのふ御登廳

急遽熱海より御歸京

【東京二十八日發】伏見總長宮殿下には二十八日午前十時四十分熱海より御歸京[illegible]遊ばされた

海相が言上

組閣工作の經過を

【東京二十八日發】永野海相は二十八日午後一時三十分[illegible]

湯淺內府退出

【東京二十八日發】湯淺內府は二十八日午後七時三十分[illegible]

百武侍從長退出

【東京二十八日發】百武侍從長は[illegible]

富田議長單獨で天機を奉伺

けふ參內して

【東京二十八日發】[illegible]

尾崎氏が提言

各派交渉會を開く

【東京二十八日發】尾崎行雄氏は[illegible]

【東京二十八日發】富田衆議院議長は[illegible]

社大黨から聲明書

【東京二十八日發】社會大衆黨は二十七日午後左の聲明書を發表した

宇垣大將の組閣に軍部との關係によつて困難に逢着せる如くであるが[illegible]

太田法制局長官 昨夕組閣本部へ

【東京二十八日發】太田法制局長官は午後九時四十分組閣本部に入った

原田男 坐漁荘へ

重要連絡に當る

【興津二十八日發】原田熊雄男は二十八日午前西園寺公を訪問、宇垣大將の組閣を繞る諸情勢を報告する[illegible]

二つの意見書を提出する動議成立

◇新竹州會第一日

【新竹電話】新竹州會第一日の午後は一時半開會[illegible]

[illegible]

ソ聯愈よ挑戰的

我方は深甚な注意

【東京二十八日發】最近ソ聯は日本に對し益々挑戰的態度を執るに[illegible]

[illegible]

ソ聯に抗議

虚構宣傳問題

【東京二十八日發】ソ聯邦が反革命運動に日本當局が關係ある如く宣傳を試みてゐるのに對し我が外務當局では極度に憤慨し[illegible]

產金株暴騰

買上げ値段の引上を見越し

【東京二十八日發】二十八日の市場は政府の[illegible]

政局の安定を財界で要望

【東京二十八日發】宇垣大將の組閣工作は重大局局に直面したまゝ二十七日も何等進展なく[illegible]

各省次官會議

【東京二十八日發】二十八日午後[illegible]

豫備編入の陸軍武官に特旨敍位

【東京電話】[illegible]

平和會議を華府に開催

米國下院に決議案提出

【ワシントン二十七日發同盟】[illegible]

海空軍次長の職を創設

【モスクワ二十七日發同盟】ソ聯中央執行委員會は二十七日[illegible]

米國海軍長官が三隻建造を命ず

【ワシントン二十七日發同盟】[illegible]

滿洲國視察團 總督を訪問

滿洲國視察團の民政部[illegible]

佛軍强化の必要を力說

【パリ二十六日發同盟】[illegible]

人事

▲[illegible]

▲小山三郎氏、伊藤元二氏[illegible]

▲井上重人氏[illegible]

▲中山良彦氏[illegible]

▲中[illegible]

シナチク

[illegible]

本日夕刊共十六頁

第參拾五期營業報告

[illegible]

臺灣製紙株式會社

銘酒 楓白鹿

寒冒に！寢冷は！キツト治る
福福力ゼ藥
發賣元 臺北市兒玉町 南門藥局

内科 小兒科 樋詰醫院

外科 性病科 レントゲン科 梅野醫院

（二）現状と見透し

高橋経済研究所長 高橋亀吉氏講演

（二十五日本社主催講演会にて）

又今日の考へ方から云へば、[illegible]の物資や事の[illegible]の立場から有利であると云ふ事は同様なしに考へられた。そこで某国の例を取つて見ますと今日の我国が[illegible]いかなる物資を買ひそのるのであります。所謂[illegible]国内の高い物を買つてやつた方が却つて安くつくと云ふ事態になつて来る。この様に今日の

自由競争の時代の原理

[illegible]

国内の仕事が少くなる[illegible]

[illegible]

貨幣制度が金本位を離脱して了つて完全な管理通貨の時代になつて来て居るのであります。所謂云ふ変化の結果金本位時代の金融の見方その他と云ふものは今日では通用出来ない。今日の金融の動き方は金本位時代にかては到底出来ない。若しやつたら大変な事になる様な事が今日では必ずしもさうでなく、この様な現象が到る処で見受けられて居るのであります。之は資本が非常に世界的であつたのであります。例へば「資本に国境なし」之は従来の諺として総ての人が感じて居た。資本は有利な所を探して、[illegible]を加へられると他の方面に出て行つて了ふ。仮に日本の財政経済に[illegible]あるいかでも危険があると[illegible]の国に資本は逃げて了ふ。之は当然だと云ふのが常識であつたのであります。従つて日本の公債政策或は財政経済政策が経済に如何なる影響を及ぼすかを考へる場合常に斯の如き影響が論ぜられて来たが今日にかては資本に国境なし[illegible]と云ふ事は何処に行つてもない。

（高橋亀吉氏）

今日では資本は非常に国民色を帯びて居り、自由に出て行く事を許して居る国はない。

色々な制限を設け、色々な障壁を設けてその国の必要に応じた資本の動きを命じて居る。自由には動かない様になりまして背と同じ様な事で[illegible]すると非常に閉塞つた結果になる。若ならば例へば日本で之だけの公債を発行してその結果非常な不安がある[illegible]とすると、資本はドン〳〵出て行つて公債の暴落は必然と見て間違ひなかつた。さう云ふ影響を持たねばならなかつた。併し今日では

為替管理が行はれて居るのでこの様な自由は出来ないので為替がすぐ暴落すると考へると実際とは丸で違つた結果になる。之は外国にかても同じ様な変化が起つて居るのであります。だから日本の経済の現状及び将来を見ます場合には斯の如く世界的に大きな変化がある事を頭に入れて置かないと非常に実際と掛け離れた見方になるのであります。又先程申した様に時代から有り余る時代になつたと申しましたがその結果、例へば物を貯める、又は使ふと云ふ事にも

非常な変化が来て居ります。足りない時に貯める事は大いに必要な事であるけれども有り余る時には貯める事は個人の場合は別として却つて邪魔になる。従つて川時代にかて有り余つて困つた時には米等を海の中に捨てたと云ふ事が歴史に現はれて居る。足りない時代の考へ方で有余る時代の事を考へるとそんな事はするべきでないと云ふ事もその時代になると捨てざるを得なくなるのであります。そこで今日本或は世界が

公債政策で物を使ふ場合昔の考へで行くとそんな事をしては大変になる筈だが有り余る場合にはそれだけ使つて貰つた方が無限によいとは云へないけれど却つてよいと云ふ事が起り得るのであります。即ち有り余る時代には使ふがよい。足りない時代には使ふ事はよくないと云ふ具合に

紡績蕃殖の批判が違つて来るのであります。従つて後者の様に物の有り余る時代の赤字公債の見方と足りない時代の公債の見方はそれだけ変化が起らねばならない。無論そこには自ら限度があるのです。程度を越えて使つてはいけないのでありまして、この点も我々はよく考へて置かねばならないのであります

馬場財政は全面的修正を要す

東京手形交換所新年会に於ける 注目すべき財界巨頭の演説

【東京二十八日発本社特電】東京手形交換所新年会は二十七日[illegible]日本[illegible]

[illegible]

る必要がある。社会の活動には[illegible]と共に[illegible]を主とする以上、[illegible]を以て国[illegible]べきである

[illegible]

新竹州下の柑橘産業

本年度は三割方の増産

【新竹特電】新竹州下の柑橘類の生産数量は年々[illegible]の[illegible]つつあるが本年度の[illegible]

ることを忘れてはなるまい。和[illegible]本島も爪哇糖の[illegible]する意味で[illegible]の代りに爪哇から[illegible]七、八万[illegible]それは大分拡大したものでないと思ふ。現に角小麦から見る[illegible]ケットが狭い今日だからネ

爪哇糖と濾糖の格差問題

【神戸二十八日発本社特電】爪哇少の為め不作と[illegible]この程[illegible]同業組合の調査によ[illegible]

[illegible]

臺灣製紙総會

一割配當可決

臺灣製紙株式会社は二十八日午前十時[illegible]で第二十五期定時株主総会を開催、[illegible]株主総数四千四百九十七株（[illegible]）[illegible]

法定積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
役員賞与金	[illegible]
株主配當金（年一割）	[illegible]
後期繰越金	[illegible]
内	
合計	[illegible]
當期利益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]

大阪商船の國際汽船掌握

【神戸二十八日発本社特電】[illegible]

商況（廿八日）

島内米肥

臺米現物相場

[illegible]

基隆在庫米

[illegible]

高雄在庫米

[illegible]

正米市況後場

[illegible]

島内肥料相場

[illegible]

米況

大阪期米後場

[illegible]

東京期米後場

[illegible]

神戸期米後場

[illegible]

堂島両建控除倶合

[illegible]

堂島前場先限主なる手筋

[illegible]

堂島前場先限主なる手振

[illegible]

堂島米況前場

【大阪二十八日発】今朝は各地の[illegible]

堂島米況後場

【大阪二十八日発】[illegible]

堂島雑観

【大阪二十八日発】[illegible]

株式

大阪短期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

東京株況前場

【東京二十八日発】[illegible]

東京株式閑氣配

【東京二十八日発】[illegible]

北濱雑観

【大阪二十八日発】[illegible]

為替

臺銀建値

[illegible]

絲況

横濱生絲後場

[illegible]

砂糖

大阪砂糖現物

[illegible]

大阪砂糖後場

[illegible]

穀肥

大連特産前場

[illegible]

大連特産前場況

【大連二十八日発】大豆、各[illegible]

神戸豆粕後場

[illegible]

神戸市中相場

[illegible]

神戸硫安相場

[illegible]

臺北商工會總會

荒木氏の補缺には久宗氏 淡水築港問題を提案

臺北商工會は二十八日午後一時三十分より鐵道ホテル大会議室にて第三十七回定期総会を開催した。出席者は[illegible]

[illegible]

淡水築港問題に就ては[illegible]

東西南北

[illegible]

臺中米價（二十八日）

蓬萊米一〇円七五銭、在來一〇円[illegible]

新産業 キャッサバ

新需要起らねば栽培熱も頓挫か

澱粉原料としては輸入品に敗け 無水酒精原料に注目さる

[illegible]

植付状況はどうなつてゐるかといふに昨年春植付をなしたもの二三万坪を推測されるものは

臺北州	一五〇〇
新竹州	五〇〇
臺中州	一、六〇〇
臺南州	五〇〇
高雄州	七〇〇
花蓮港廳	三〇〇
臺東廳	二〇
計	四、〇二五

昭和十年には僅々二千甲であつたものが十一年に[illegible]の[illegible]して[illegible]にも増加したのは[illegible]

栽培熱の[illegible]

栽培面積があれば我が日本の輸入量（キャッサバ澱粉）三百三万斤、同チャム三百七十五万斤、何れも爪哇からの輸入を[illegible]

特殊性を[illegible]

澱粉増産の影響を[illegible]

世界的物價高乍ら爪哇の滯貨が問題

特殊な用向を持つて來た 秋山日糖常務語る

[illegible]

淋疾にウラルゴール

淋疾に就て

男子の淋病は、其の根源地帯である尿道内の粘膜に潜在する淋菌を撲滅せざれば、到底全治しないのである。然るに従来の薬品及び療法は實に多數あるが、依然として淋疾は難治である。

たとへば、内服藥を服用し、尿と共に尿道を通過させるも、其の效果は尿道粘膜の表面にある淋菌には作用するが、尿道粘膜の側管及び腺腔内に潜在する淋菌は容易に死滅しないのである。また銀劑溶液の注入は水溶液のため、尿道の彈力によつて直ちに外部へ流出し、尿道内の殺菌時間は僅か一、二、三分に過ぎない。故に其の效力は極めて遲々である。其他の器械的療法も一利一害ありて適確なるものなく、斯くして淋疾の治療期間は頗る長日月にわたり、此間に於て患者は不安の念、或は時疾の[illegible]に、再發の憂目を痛感し、其の苦痛たるや甚だ大である。

故に着眼し、多年苦心研究の結果、従来の藥品及び療法の缺點を改善し、尿道内或は腺内に潜在する淋菌を殺滅し、再發防止に奏效すべく創製したのが、日英米佛製法特許ウラルゴールである。

U.102

日英米佛 製法特許

ウラルゴールとは、殺菌力強き特殊の銀劑と粘膜深達性に富む色素劑とを、獨特の方法により化學的に結合して粉末とし、此の粉末は直ちに溶解する極めて薄き皮の細き管中に入れてある。之を尿道へ挿入すると、外管は忽ち溶解し、内容は粉末なるが故に、水溶液の如く直ちに外部へ流出する事なく、尿道彈力によつて却つて尿道粘膜の微細なる部分にまで平等に分布密着し、其のまゝ徐々に溶解浸潤しつゝ、一本にて數時間にわたり間斷なく殺菌深達作用を持續し、其の殺菌力は感染早々は勿論、尿道粘膜の側管及び深腺に潜在する慢性淋菌にまで深達し、排膿淋絲を消退に導くと同時に再發防止に奏效するのである。實に之は鎖の局所注入、或は内服等と全然相違せるウラルゴール獨特の作用である。

適應症

一、感染早々の患者には、短管を使用されたし。

一、慢性、或は再發性の患者には、最初に短管を、次ぎに中管を使用されたし。

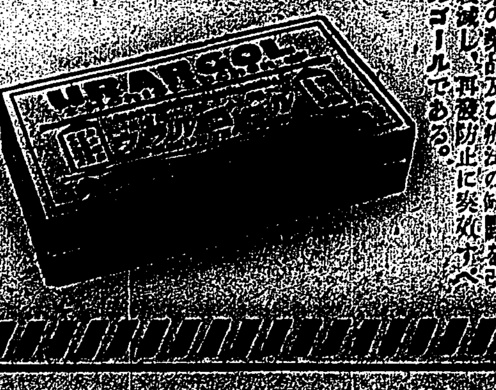
一、惡性か、或は數年、十數年の固疾慢性患者には短管、中管の次ぎに長管を。

一、豫防用としては、（其の翌日にても可）一回に短管一本を挿入されたし。

（治療用としては、一日一本或は二本使用の事）
（使用に要する時間、一本僅かに二、三分）
（殺菌作用持續時間、一本にて三時間より六時間）

附言

ウラルゴールは、内容が粉末なれば、淋菌其他の汚物を後部へ移送する危險なし、また長時間の作用中も、無刺戟にて副作用なく、平常と何等異なる所なし。使用法も頗る簡單にして安全携帶にも甚だ便利なり。之等の諸點も亦ウラルゴールの大なる特長である。



ウラルゴールは、單に二三の博士、或は一二の病院にて實驗したるものに非ず。幾多の專門家の研究と實驗を經て發賣したるものにて、その獨特の效力と簡單なる使用法とにより、大學病院を始め、著名の泌尿科專門醫、或は專門外の醫家にまで賞用さる。敢えて各位の實驗を俟つ。

日英米佛製法特許 ウラルゴールの種類と價格

短管三本入	（豫防用）	クリーム・ネズミ付	〇円七五
同 十本入	（初期發用、男子慢性及び初期用品、女子尿道用、子宮頸管用）	同	二円〇〇
中管十本入	（男子慢性及び長管用、女子尿道及び膀胱用）	同	二円五〇
長管十本入	（男子慢性膀胱用）	同	三円〇〇

（外に大罐入、病院用あり）

製剤名あり、ウラルゴールの短管、又は中管、或は長管と名を御指定あれ。
全國の藥店、デパート藥品部にあり。若し品切れの時に、直接發賣元へ御注文あれば、代金引換發送又は當方送料にて直ちに發送す。
（代金前送又は送料不要、郵券代用にても可）

（實驗者諸士の證明書進呈）

東京市日本橋區本町三ノ一
發賣元 友田合資會社
藥種貿易商
電話日本橋（24）七一八〇、七一八一、七四七
振替口座東京一九三八